

中国地方整備局事業評価監視委員会名簿

(平成18年9月8日現在、敬称略、順不同)

氏 名	所 属	専門分野等（専攻）
【委員長】 とちもと いさお 櫛 本 功	広島大学名誉教授	経済政策、地域経済
【副委員長】 みちうえ まさのり 道 上 正 規	(財)とっとり政策総合研究センター理事長	水工学、防災工学
いのうえ のりゆき 井 上 矩 之	福山大学工学部教授	交通工学,土木計画学
うえだ しげる 上 田 茂	鳥取大学工学部教授	海洋構造工学,港湾工学
うちだ かずこ 内 田 和 子	岡山大学大学院社会文化科学研究科教授	地理学
すぎもと くにたろう 杉 元 邦太郎	島根大学名誉教授	地域開発論,地域計画
ちば きょうぞう 千 葉 喬 三	岡山大学学長	地域生態管理学
ほりうち ひでお 堀 内 日出夫	中国経済連合会専務理事	地域経済
むらた ひでかず 村 田 秀 一	山口大学理事	基礎・土質工学
わかつき としじ 若 槻 俊 二	(株)エブリプラン総括顧問	地域経済

平成18年度 中国地方整備局事業評価監視委員会 審議予定表（実施案）

資料－2

担当部	第1回 9月8日開催	第2回 11月開催予定	第3回 1月中旬開催予定
河川	吉井川水系直轄総合水系環境整備事業（再評価）	旭川水系直轄総合水系環境整備事業（再評価）	江の川下流河川改修事業 坂本地区宅防（事後評価）
	高梁川水系直轄総合水系環境整備事業（再評価）	佐波川河川改修事業 植松地区築堤（事後評価）	江の川上流河川改修事業 島敷地区築堤・排水機場（事後評価）◎
	芦田川河口堰貯水池水質保全事業（事後評価）※	斐伊川河川改修事業 荒島地区湖岸堤（事後評価）	江の川上流河川改修事業 香淀地区宅防事業（事後評価）
小計	3件	3件	3件
道路	一般国道9号 名和・淀江道路（再評価）	一般国道9号 益田道路（再評価）◎	一般国道191号 萩・三隅道路（再評価）
	一般国道53号 津山バイパス（事後評価）	一般国道191号 萩拡幅（事後評価）	一般国道2号 岡山バイパス（事後評価）
小計	2件	2件	2件
港湾空港	徳山港下松港新南陽地区多目的国際ターミナル整備事業（再評価）◎	宇部港本港地区航路・泊地整備事業（再評価）	広島港廿日市地区国内物流ターミナル整備事業（事後評価）
小計	1件	1件	1件
営繕	海上保安大学校[総合実習棟]（事後評価）	第八管区海上保安本部境海上保安部鳥取海上保安署（事後評価）	松江地方合同庁舎（事後評価）
小計	1件	1件	1件
合計	7件〈再評価4件、事後3件〉	7件〈再評価3件、事後4件〉	7件〈再評価1件、事後6件〉

※：ダム等の管理に係るフォローアップ制度活用により、委員会に報告する事業

◎：6月に現地視察を実施した事業

平成18年度 第1回中国地方整備局事業評価監視委員会 審議一覧表
【再評価】

No.	事業種別	事業名	事業概要	経緯	該当要件	対応方針（案）	備考
1	港湾	徳山下松港新南陽地区 多目的国際ターミナル整備事業	徳山下松港新南陽地区は、既存係留施設の不足（岸壁水深及び岸壁数、背後スペース）及び大型船舶に対応した水深を有する係留施設がなく、高い物流コストを強いられている現状である。中でも、近年の背後企業が企業間の連携を図ったこと等による生産性の向上、生産量の増加などに伴い、徳山下松港の取扱貨物量が増加しており、取扱貨物能力の限界に達している状況にある。このため、当該地域の物流効率化を図り、船舶の大型化に対応した岸壁（－12m）及び埠頭用地の整備をするものである。	平成9年度 事業着手	事業着手後 10年経過	事業継続	
2	道路	一般国道9号 名和・淀江道路	一般国道9号は京都市から下関市に至る延長約645kmの主要な幹線道路である。名和・淀江道路は、国道9号の交通混雑の緩和、安全・円滑な交通の確保のほか、事故・災害時におけるリダンダンシーの確保などを目的とした、延長約12.1kmの道路である。	平成8年度 事業着手 平成9年度 都市計画決定	都市計画決定 後10年経過	事業継続	
3	河川	吉井川水系直轄総合水系 環境整備事業	吉井川は岡山県東部に位置し、その源は中国山地の三国山（標高1,252m）に発し、津山市を貫流しながら途中加茂川・吉野川・金剛川等を合流して、岡山市西大寺で児島湾の東端に注ぐ、流域面積2,110km ² 、幹川流路延長133kmの河川である。 本事業は、環境整備計画や地元要望に基づいて、地域との合意形成を図りながら、現在の良好な自然環境を保持し、沿川のまちなみと一体となった良好な水辺環境を保全・創造するとともに、河川環境学習の拠点整備や生物の生育環境の保全・再生に配慮した水辺の整備を行い、水辺空間の利用促進を図るものである。	平成12年度 事業着手	社会情勢の 変化等	事業継続	
4	河川	高梁川水系直轄総合水系 環境整備事業	高梁川は岡山県西部に位置し、その源は中国山地の花見山（標高1,188m）に発し、水島灘に注ぐ、流域面積2,670km ² 、幹川流路延長111kmの河川である。 本事業は、環境整備計画や地元要望に基づいて、地域との合意形成を図り、自然環境の保全に配慮しながら、生物の生育環境の保全、再生に取り組むとともに、地域特性を活かした水辺整備を行い、水辺空間の利用促進を図るものである。	平成9年度 事業着手	社会情勢の 変化等	事業継続	

【事後評価】

No.	事業種別	事業名	事業概要	事業年度	備考
1	道路	一般国道53号 津山バイパス	一般国道53号は、岡山市を起点とし、津山市を経て中国山地を越え、鳥取市に至る延長約139kmの主要幹線道路である。 津山バイパスは、津山市内に滞留している交通を適切に分散誘導処理することで、交通渋滞の解消、交通安全の確保を図り、さらに良好な都市環境の形成を目的として計画された津山市皿から津山市二宮に至る延長1.6kmの道路である。昭和57年度に事業着手、平成3年3月に一部暫定供用し、平成15年2月に全線暫定供用（2／4）を行っている。	S56～H14	
2	営繕	海上保安大学校[総合実習棟]	海上保安大学校は、海上保安庁の幹部となる職員を養成するための教育・訓練並びに海上保安業務に必要な専門的な研修を実施する機関として広島県呉市に設置されている日本で唯一の施設である。 今回の事業では煉瓦ホール（端艇庫）、端艇置き場の老朽・狭あい、実習室の不足および訓練資機材置き場の分散等に対応するため、総合実習棟の整備を行った。また、煉瓦ホールについては、歴史・文化的価値があると判断され、多目的ホールとして保存活用を行った。 総合実習棟（新築） 鉄筋コンクリート造2階建、1,798m ² 煉瓦ホール（保存・活用） 煉瓦造平家建、310m ²	H14～H15	

対象事業位置図

